

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス あまね (多機能型事業所)			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 18日		～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名(児発) 4名(放デイ) 計36名	(回答者数)	24名(児発) 3名(放デイ) 計27名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 18日		～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14人	(回答者数)	14人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 7日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもを安心して預けていただいている 子どもに寄り添った支援を目指し子どもと一緒に楽しみながら療育を進めている	毎回の支援プログラムを重心児・発達障害児とともに職員全員で検討。自分たちで実際に行ない取り組み方法や支援の仕方を検討している	・その都度、内容のレベルアップや重心児に対する内容把握などをしていく 看護師と保育士がさらに連携をし、より良い支援が提供できるように取り組んでいきたい ・職員の笑顔
2	発達部門・看護部門等、職員の役割分担をすることで、それぞれの専門性を高めて療育の質の向上を図ることができる	発達障害児・重心児ともに受け持ち担当制とし、支援・ケース会議などで課題や取り組み等を話し合い多職種連携しながら多角的な意見を出し合い一貫した支援へと繋がっている	受け持ち担当制を取り入れていくことで子どもだけでなく保護者・兄弟支援に繋が、安心して通所してもらえる環境づくりを行なう
3	保育所や他施設・その他の関係機関との連携ができている	様々な機関と連携をとり、情報の共有を行ない支援に繋がっていくことができる	多職種連携で多角的な支援の在り方を検討し、療育の質の向上に繋がっていく

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>今回の保護者向け評価で活動概要や避難訓練や父母の会などの行事内容が伝わりにくいのご意見をいただいた</p>	<p>日々の活動内容等は、送迎に来られた家族へのフィードバックの際に事業所内の様子をお伝えするとともに直接見てもらうことができるが、職員が送迎する重心児の保護者には事業所内での様子が伝わりにくい場合もある</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信の方法を検討し、マニュアルや業務体制などSNSを通じて周知してもらえるようにする</li> <li>・父母の会開催など保護者の方々に来所してもらえる機会をつくっていく</li> </ul>
2			
3			